



大規模災害訓練を実施しました

平成27年10月31日(土)、7回目となる大規模災害訓練を実施しました。今回は、平日午前9時頃に豊中市で震度6強の大地震が発生し、病院周辺の被害が甚大である場合を想定した訓練でした。災害に迅速、的確に対応できる体制の整備と組織力の強化を図るため、訓練を通して検証を行いました。

災害対策本部で病院全体の被災状況を確認し、外来患者の対応や多数傷病者の診療など行いました。総勢222名(院外協力19名を含む)の方に参加いただき、総合的な訓練となりました。

災害対策本部

災害対策本部を立ち上げ、病院内外の被災状況を情報収集しました。またトリアージ部門などの災害診療部門の立ち上げを指示し、多数傷病者の受け入れ準備を進めました。



ライフラインの確認

- 電気 停電、非常用発電機のみ発動
- ガス 停止
- 水道 断水、受水槽からの供給のみ
- 電話 院内PHSのみ使用可
携帯電話使用できず
- 交通 公共交通機関全て停止



災害診療部門としてトリアージ部門や重症・中等症・軽症・死亡管理部門を立ち上げ、多数の傷病者を受け入れました。また、入院患者の安全を確認する病棟訓練も行いました。

軽症・中等症・重症部門



軽症部門



中等症部門



重症部門

受け入れエリア毎に傷病者の治療に取り組みました。

トリアージ部門



※トリアージとは、災害・事故現場などで大勢の傷病者が発生した時に重症度によって治療の順番を決めること。



正面玄関前で実施しました。すぐに治療が必要な重症者は赤色、中等症患者を黄色、自力歩行ができるケガ人を緑色にし、多数の傷病者をトリアージしました。

外来部門



外来部門

平日の午前中という時間設定の為、実際に災害が発生した時には多数の患者様が来院している事が予想されます。薬剤処方など、外来患者の対応についても訓練を行いました。

訓練にご協力いただきました豊中市消防局 救急救命課、大阪医専救命士課程の皆様方に感謝申し上げます。訓練を通して具体的な課題を発見できました。そして災害時において各部署で連携し、迅速・的確に対応できる体制と防災意識の向上を図り、今後の災害対策に生かすことのできる有意義な訓練となりました。

意見への回答

Q. 外来受付の際に受け取る会計ファイルが汚れている。拭き取りや交換は行っていますか。

A. 会計ファイルの汚れにつきましては、定期的にアルコール除菌を行っております。また、破損が酷く、使用が難しいファイルにつきましては、随時交換を行っております。

Q. 3週間の入院お世話になりました。先生・看護師・薬剤師さんありがとうございました。色々検査して頂き食事しても痛みもなく、退院することになりました。

皆様お身体に気をつけ、お仕事頑張ってください。

A. この度はご意見をありがとうございました。今後も、患者さんに対して心温かな信頼される医療を提供できるように努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

Topics

第13回 がん医療市民公開講座 「がんにならないために・・・、もしがんになっても・・・」

平成27年11月14日(土)
阪急豊中駅前「ゆやホール」において、シリーズ第13回目の「がん医療市民公開講座」を開催いたしました。
今回は、がんの正しい理解を深めて少しでも不安軽減につなげるよう「がんにならないために・・・、もしがんになっても・・・」をメインテーマに、院内外の4人の演者による講演をお届けしました。

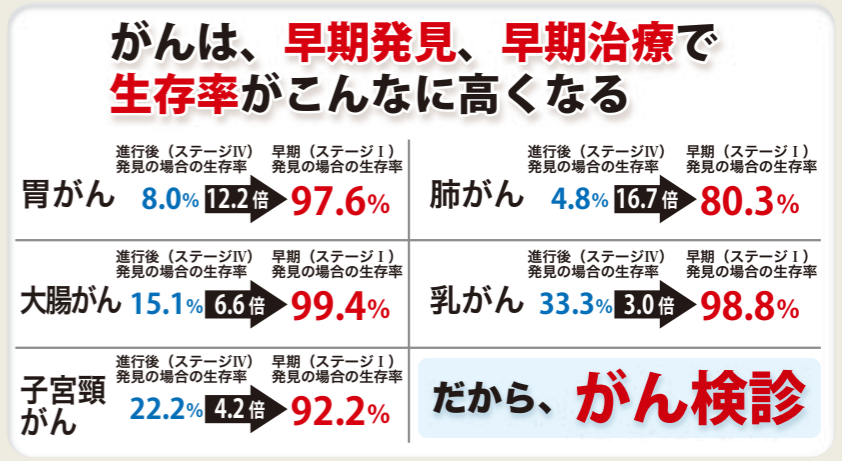


第一講 「がんにならないためには」

市立豊中病院 がん診療統括センター長 今村 博司 医師

日本人の死亡原因の1位は、がんであり、がんで大切な命を失わないように、がんの予防を心がけることが大切です。日本人のためのがんの予防方法として、国立がん研究センターが挙げていることは、「禁煙」「節度ある飲酒」「バランスのよい食事」「適度な運動」「適正な体型」「発がん関連の感染症に対する対策」です。予防方法から分かるように「がん」は生活習慣病の一つとも言えます。「発がん関連の感染症に対する対策」としては、肝臓がんのリスクとなる肝炎ウィルス検査を一度は受けることや、胃がんの原因であるピロリ菌の検査を受けることなどです。

また、がんの原因がわからないことも多く、がんを完全に生活習慣で予防することは不可能なため、早期発見、早期治療につなげるため、がん検診を受けることが大切です。



基本理念

豊中市の地域中核病院として「心温かな信頼される医療」を提供します。

基本方針

- 1 患者さんの立場に立った心温かな病院をめざします。
- 2 地域の中核病院として安全で質の高い医療を提供します。
- 3 医療機関との連携を密にし、市民の健康を守るために努力します。
- 4 少子高齢化社会に対応する医療を推進します。
- 5 病院職員の教育・研修の充実を図ります。

